

# 2010 年国際免疫学会議・組織委員会ニュース

第 7 号:平成 20 年 12 月 18 日 組織委員会事務局発行



早いもので、いつのまにか年末となってしまいました。組織委員の皆様にはご多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。

さて、先の日本免疫学会学術集会の際に開催された ICI 2010 第 4 回組織委員会には多くの組織委員の方々にご参加いただき、まことに有り難うございました。

その後、学術集会の会期中にさらにいくつかの各種委員会が開催されましたので、組織活動の新たな進捗状況についてお知らせします。

## ✚ プログラム委員会(審良静男・委員長、齊藤 隆・副委員長)から

1. Advisory Board, International Program Committee のメンバーが決定されました。詳細は <http://www.ici2010.org/jp/index.html> (日本語版), <http://www.ici2010.org/index.html> (英語版) をご覧下さい。今後、さらにメンバーの地理的分布、研究分野分布、男女分布等を考慮して若干の追加がなされる可能性があります。
2. 午前中のシンポジウム構成の原案が決まりました。全体の3分の1を臨床免疫のセッションとし、そのうち半分を FOCIS に委ねてスピーカーの選考を依頼します。既にこの件について、FOCIS の David Hafler 博士からは了承をいただきました。
3. 学会抄録の提出は IUIS 宛にオンラインで行われ、これらの抄録が IUIS 事務局から日本側に電子情報として送られてきますが、この仕分け作業が大変です。2010 年は幸い、日本免疫学会学術集会がないので、免疫学会事務局にお手伝いをいただくとともに、出版委員会と協力しながら、この作業を行う予定です。

## ✚ 総務委員会(烏山 一・委員長)から

1. ポスター展示について: 現段階での参加者数は 4,000 名程度、発表演題は 2,000 題近くを見込んでいます。会場のポスター数は現在、合計 800 題程度を想定し、会期中前半、後半の 2 回転での掲示を検討しています。
2. 企業展示ブースについて: 各ブースのサイズは国際会議では 1 コマ 3m × 3m が標準ですが、これを 130~140 コマ集めたいと考えています。今月中に協賛依頼可能企業リスト案の作成を開始する予定です。

✚ 企画委員会(清野 宏・委員長)から

1. 開会式は、ポートピアホールでの開催が予定されています。大阪が世界に誇る大阪フィルハーモニー交響楽団に来て貰えそうです。
2. 開会式では、免疫と関連があり、格式の高い、文化的・哲学的な話をできる方に講演(40-45 分)をお願いする予定です。皆様からご推薦があれば、よろしくお願い致します。
3. 8 月 25 日の中日の夕方は、盆踊りや灘の利き酒パーティーなどを市民広場で行う案が出ていますが、雨天の場合どうするか考慮中です。
4. オフィシャル・パーティーはユニバーサル・スタジオ・ジャパンで行う案が出ていますが、現在、必要経費の点から実際に可能かどうか、検討中です。

✚ 広報委員会(高浜洋介・委員長)から

1. これまでに ICI 2007(リオデジャネイロ)、10<sup>th</sup> 国際 DC 会議(神戸)、FIMSA2008(台北)で広報ブース展示を行いました。その他の各種関連会議についても、チラシ配布(3,000 枚)、セッション間の PR スライド上映、メモパッドの作成等を行いました。
2. 日本語版ウェブページを作成しました。
3. 2009 年はベルリン・ヨーロッパ免疫会議でのブース展示、2<sup>nd</sup> サーキュラーの作成、ウェブページの充実などを計画しています。なお、2<sup>nd</sup> サーキュラーは、プログラムが固まった後の来年 6~7 月頃に作成を予定しています。
4. ICI2010 のウェブページに PR スライドを掲載しています。ぜひダウンロードしてご活用下さい。
5. Trends in Immunology から ICI 2010 特集号を組むという編集長内諾を頂いています。

✚ 財務委員会(山本一彦、小安重夫・委員長)から

1. 日本語、英語の募金趣意書を作成し、寄附金集め、スポンサー集めの両方を財務委員会で担当します。なお、寄附金とスポンサーシップの違いですが、前者は資金の用途を指定されず場合によっては免税措置をとることを求められ、一方、後者は、企業にとって広告としての役割を果たすことから経費(損金)として計上することができる、という違いがあります。
2. ランチョンセミナーのスポンサーについても趣意書を作成し、来年から総務委員会とも連携をとりながら募集を開始する予定です。
3. 臨床系、基礎系の両面から広く募金を得るために、両分野から新たに数名の財務委員に加わっていただく予定です。

✚ 出版委員会(菊谷 仁・委員長)から

1. ICI 2010 の開催に向けて「日本の免疫特集」を International Immunology に掲載します。
2. アブストラクト集を作成する際、CD のみにするのか、冊子にするのか検討する必要性があり、今後プログラム委員会との連携が重要になってきます。
3. 学会抄録の仕分け作業は主にプログラム委員会が行い、出版委員会などが協力しながら作業することになると思われます。

✚ サテライトシンポジウム委員会(松島綱治・委員長)から

1. 現在、ICI 2010 のサテライトシンポジウムとして、奈良で The 4th "B cell and Autoimmunity" シンポジウム、東京で The 8th International Veterinary Immunology Symposium が開催される予定です。
2. この他に、何か情報をお持ちの方は松島委員長までお知らせ下さい。

✚ 旅行渉外委員会(中山俊憲・委員長)から

1. オフィシャル・トラベルエージェンシーは JTB です。今後は JTB と連絡をとりながら、ホームページに、パッケージツアープラン、ホテルリスト、安価な宿泊施設等のコンテンツを掲載予定です。
2. 若い参加者向けのトラベルアワード(1 名あたり 1,000 US\$を開発途上国 200 名、先進国 100 名に出す予定)の選考を受け持ちます。



✚ 阪大事務局から

事務担当が植田真由美さんから岡田京子さんに変更しました。委員会開催の際には、当事務局で、会議の場所の予約、日程調整、出欠の確認、旅費の払い戻し等を行いますので、遠慮なく、岡田さんまでお申し越し下さい。連絡先は:

阪大 ICI 2010 事務局: 岡田京子

tel. 06-6879-3971, fax. 06-6879-3979

e-mail: [2010ici@orgctl.med.osaka-u.ac.jp](mailto:2010ici@orgctl.med.osaka-u.ac.jp) (I はエルです)



新しいニュースは当面、以上ですが、皆様からも組織活動に関するニュースがありましたら、遠慮なく、上記事務局までお知らせください。

2010 ICI 組織委員会事務局長・宮坂昌之